



近つ飛鳥

令和8（2026）年

6月25日

学校だより 7月号

家庭数

夏本番に向けて

校長 山田 智一

水泳指導が始まり、子どもたちはプールに入ることを楽しみに元気に登校しています。ところが、15日からの週は気温が低めの日が続き、子どもたちからは「プールは楽しかったけど、地獄のシャワーが冷たかった」という声があちこちから聞こえてきました。この「地獄のシャワー」という表現、誰が言い出したのかは分かりませんが、全学年で共通語のように使われています。

プールには入りたいけれど、その前に冷たいシャワーを我慢しなければならない——そんな子どもたちの気持ちがよく表れていて、子どもの発想の豊かさに思わず微笑んでしまいます。

7月に入ると、暑さが本格化してきます。朝の時間帯でも日差しが強く、蒸し暑さを感じる日が増えてきます。学校では熱中症を防ぐために、

- 外遊びの際の帽子着用
- 十分な水分の持参
- 定期的な水分補給タイムの実施

などの指導を行っています。

子どもたちには、自分の体調やその場の状況に合わせて行動できるようになってほしいと願っていますが、まだ発達段階にあります。ご家庭でも、登校前の体調確認や声かけをしていただけると大変助かります。

猛暑は困りものですが、お米や野菜など、暑さがないと育たないものもあります。今は子どもたちにとっては避けたい「地獄のシャワー」ですが、ちょうどよい気温の日には、あの冷たいシャワーが一気に「天国のシャワー」に変わることでしょう。

暑さと上手に付き合って、プールに向かう子どもたちの笑顔が、これからますます増えていくことを願っています。



スクールソーシャルワーカーの筒井 泉です。
7月は7/6, 7/13の月曜日の10:30~13:30頃に
訪問予定です。ご相談等ありましたら学校の方へ
ご連絡ください。よろしくお願いします。